

2. 「平成29年 音響基礎講習会」報告

平成29年7月12日(水)に本会主催の「平成29年音響基礎講習会」が吉野石膏株式会社虎ノ門ビル大会議室において開催されました。

本講習会は、毎年7月頃に開催されます。今回で、9回目の開催となりました。

本講習会は、音響の基礎を学び直したい方、業務で音響の知識が必要になった方、新入社員教育としてなど音響に関する基礎を学べる講習会となっています。

本講習会は、本会が実務者としての経験から音の基礎について初心者に分かりわかりやすく解説している講習会です。講習は、実際に音を聞いたり、音響材料のサンプルを手にとってみたり、測定機器で計測したり、実際使用している材料や測定機器を提示するなどして、知識だけでなく実物と体感と現場における実務の例を具体的に説明する講習会になっています。今回の受講者は89名でした。大変大勢の方に参加していただきました。

講習会は、10:00~17:15の時間です。次の内容の講義を約1時間ごとに5つの単元に分かれて開催されます。

1. 音の基礎

本講義では、音とはからはじまり伝わり方、基本現象、音の三要素、音の単位dB、騒音、法規制まで、音の基本的な内容についての解説をしました。

2. 音響材料について

本講義は、音響材料は、吸音材料、遮音材料、防振材料、制振材料等の種類についての解説。またそれらの材料種類とその特性や吸音率測定方法や音響透過損失等の評価方法の解説をおこないました。

また、実際の材料サンプルを受講者へ回覧しながらの講義を行いました。

3. 騒音・振動の防止

本講義は、騒音・振動の防止におけるグラフの見方から始まり、騒音の設計手順、騒音源の検討方法、評価方法および指標についての解説を行いました。その上で、さまざまな壁、床、天井の実際の事例とその性能を示し、問題点、注意点などを具体的な事例を中心に解説が行われました。

4. 室内音場

本講義では、室内空間の音響についての解説をしました。

まず、一般的に空間を評価する上での空間の響きである残響時間についての説明から始まり、響きを制御するための吸音の考え方と評価指標についての解説、さまざまな空間に対する吸音の考え方と対策について実例をもとに解説を行いました。また、スタジオやホールの可聴化シミュレーションを提示して、条件による違いを聞き比べました。そして、さまざまな空間の音の状態、リニューアルの例についての解説がありました。

5. 音響測定

本講義では、計測機器の使い方と数値の意味、室内騒音の評価値の解説から始まり、会議室の暗騒音レベルの測定、騒音体験など実際の音を計測したり、スピーカにより騒音レベルの体験や種々のノイズ等を用いてレベル差の体験等を行いました。そして、映像による音源探査システムのデモを行いました。

閉会のあとも講師へ熱心に質問をされていた方々もいて、熱意のある講習会となりました。



写真1 講習会風景



写真2 音響材料サンプル